

エアコンケミカル使用禁止車のご案内

1.エアコンケミカルの使用禁止エアコンタイプ

電動インバーターコンプレッサータイプ

2.理由

デンソー製のES18型電動インバーターコンプレッサーは駆動方式を従来のベルト駆動からモーター駆動になり、エンジンの状態に関係なく空調制御が行えます。冷媒はR-134aを使用していますが、エアコンオイルはコンプレッサー内部の高電圧部とコンプレッサーハウジングとの絶縁のためND-OIL11(POE系)が使用されています。

ND-OIL11以外のエアコンオイルを使用すると通電の恐れがあります。

3.注入禁止品

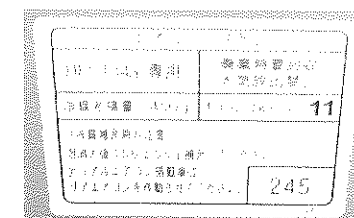
品 番	品 名	用 途
P-446	エアコンプロテクター R-134a用	エアコンオイル漏れ予防剤
P-444	エアコンオイル	エアコンオイル
P-441	蛍光剤入りエアコンオイル	エアコンオイル
W-4040	パワーズエアコンチェーンプラス R-134a用	エアコンオイル強化剤

上記商品につきましてはトラブル防止のため、電動インバーターエアコンには使用禁止をお願い致します。

4.搭載例

使用コンプレッサーメーカー	デンソー	機種名	電動インバーターコンプレッサー
		型 式	ES18型
※使用冷媒 R-134a		使用オイル	ND-OIL11 (POE系)

ボンネット裏面部表示



※コンプレッサーオイル誤充填防止のため、ボンネット裏面に適用冷媒と適用コンプレッサーオイルの種類が明記されています。

名 称	HFC134a用カーエアコンオイル
用 途	HFC134a用カーエアコンオイル補充用
形 式	エアゾール
成分含有量	潤滑油基油・潤滑油添加剤・HFC134a・その他
内 容 量	缶に記載
危険	   表示成分 2,6-ジターシャリーブチル・4-クレゾール 危険有害情報 ・高圧ガス：熱すると爆発するおそれ、生殖能または胎児への悪影響のおそれ、眠気およびめまいのおそれ、〈作用を受ける臓器(神経系)〉の障害のおそれ、長期にわたるまたは反復曝露による臓器の障害のおそれ、暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断/手当てを受けること。
警告	 可燃性注意  破裂注意 ※吸入・飲用不可 人体に害があるので、吸入したり、飲んだりしないこと。 ※皮膚の弱い人は、かぶれる恐れがあるので、保護手袋を使用のこと。 また、使用後は手をよく水で洗って下さい。 ※引火性がありますので、火気に近づけないで下さい。 ※破裂する恐れがあるので、直射日光の当たる所や40℃以上の所、特にフロントウィンドーやリヤウィンドーの近辺又は座席の上などに置かないで下さい。 ※子供の手の届かない所に置いて下さい。
応 急 処 置	※万一飲み込んだ場合、吐かせずに、医師の診断を受けて下さい。 ※誤って本品の液が目に入った場合、直ちに清水で十分洗浄し、異状がある場合は、医師の診断を受けて下さい。 ※作業中、誤って、エアコンシステム内の液が目に入った場合、直ちに清水で十分洗浄し、異状がある場合は、医師の診断を受けて下さい。 ※誤って本品の液が皮膚、顔等についた場合、直ちに清水で十分洗い流し、異状がある場合は、医師の診断を受けて下さい。 ※作業中、誤って、エアコンシステム内の液が皮膚、顔についた場合直ちに清水で十分洗い流し、異状がある場合は、医師の診察を受けて下さい。 ※使用中気分が悪くなった場合は、直ちに使用を中止し、通気のよい所で安静にして下さい。気分が回復しない場合は医師の診断を受けて下さい。
使用上の注意	※上記用途以外には使用しないで下さい。 ※作業する場合は、汚れてもよい服装を着用して下さい。 ※作業する場合は、火傷をする恐れがありますので、手袋及び火傷をしない服装を着用して下さい。又、エンジンルーム内の高温となる部品には、触れないように注意して下さい。 ※開缶の際には、液が目、皮膚に付かない様に注意して下さい。 ※作業の際、必ず安全メガネを着用して下さい。(失明防止) ※本品をHFC134a用チャージホースに接続する際及び外す際には、手を切る恐れがありますので、注意して下さい。 ※低圧バルブにHFC134a用チャージホースに接続する際及び、外す際には、手を切る恐れがありますので、注意して下さい。 ※注入の際、空気・水分及び、ゴミ等の異物が入らない様に注意して下さい。 ※誤って塗装面、アクリル樹脂、ABS樹脂に本品の液及び、エアコンシステム内の液が付着した場合は、速やかに水で流し、柔らかい布等で拭き取って下さい。 ※作業の際、本品はエンジンやラジエーターの上に置かないで下さい。 ※本品には、冷媒を戻さないで下さい。 ※本品に1Mpa(10kgf/cm ²)以上の圧力を加えないで下さい。 ※作業の際、日陰の外気温度が15℃以下と、外気温度が40℃以上の場合は、注意して下さい。

使用上の注意 及び使用方法

- 例:15℃の場合、高圧ゲージが0.62Mpa以下でセットする様にして下さい。
 例:40℃の場合、高圧ゲージが1.90Mpa以下でセットする様にして下さい。
- 又、異状(高圧低圧、全く冷えない、異音の発生等)の場合は、カーエアコンのガス入れ作業修得者がエアコントラブルシューティングを参照して下さい。修得者がいない場合は、触らないで下さい。
- ※本品には、フロンガスが入っていますので、フロンガスの過充填防止の為、高圧側の圧力を確認し、使用して下さい。
- ※異状のある場合は、カーエアコンのガス入れ作業修得者がエアコントラブルシューティングを参照して下さい。修得者がいない場合はさわらないで下さい。
- ※本品は40℃以上暖めないで下さい。
 ※作業終了後は石鹸で手を洗って下さい。
- ① エンジンを停止して、低圧側バルブ及び高圧側バルブを確認しバルブキャップを外して下さい。
 - ② フロンガスの過充填を防止する為、エアコンシステムの高圧側バルブにHFC134a用のエアコンチェッカーを接続して下さい。
 - ③ エンジンを始動し、エアコンを入れ、コンプレッサーが作動しているのを確認の上、約30～60秒間後、ガス量の点検とHFC134a用オイルチェッカーで低圧側バルブを3回押して点検して下さい。
 - ④ 不足していればエンジンを停止し、低圧側バルブにHFC134a用チャージホースを接続して下さい。接続する際は、低圧側バルブ下の配管部分を手で良く支えて接続して下さい。
 - ⑤ ホース内部のエア抜きをして下さい。(シューとガスが出れば良い。)
 - ⑥ HFC134a用チャージホースに本品を接続する際、液が塗装に付かないように本品の接続部を布等で包み込み、必ず本品の頭が上向き状態で速やかに接続して下さい。
 - ⑦ エンジンを始動し、コンプレッサーのクラッチが作動しているのを確認し、必ず本品の頭が下向きの状態でエンジンを約1,500rpmで約8～12秒(但し、外気温度の低い場合や、クラッチの作動状態によっては、30～60秒位)空ぶかしします。本品を軽く振りながら、フロンガスが過充填にならないように、高圧側の圧力を確認の上、注入して下さい。
 - ⑧ 追加注入する際、エンジンを停止し、本品を付け替え、⑦の作業で注入して下さい。但し、フロンガスの過充填防止の為、高圧側の圧力を確認の上、追加注入して下さい。
 - ⑨ 注入終了後、エンジンを停止し、HFC134a用チャージホースとHFC134a用エアコンチェッカーを取り外し、最初に外した低圧側バルブのキャップを元に確実に締めなおして下さい。
 - ⑩ 低圧バルブから外したHFC134a用チャージホースは次の作業に備えて必ず、ジョイント部分のネジをゆるめ、内圧を抜き、そしてネジを確実に元に締め直して下さい。
 - ⑪ HFC134a用チャージホース内への異物の混入を防止する為、本品の空缶は接続した状態で保管して下さい。

保管及び 廃棄方法

- ※保管の際は、必ず密栓し、破裂の原因となりますので、40℃以上になるところ、直射日光の当たる場所や錆の発生しやすい水・湿気の多い場所に置かないで下さい。
 ※缶を落したりして、缶に衝撃を与えないで下さい。
 ※廃棄の際は、中身を使い切ってから、火気のない戸外で、ガスを完全に抜いてから法令に従って適切に処理して下さい。

表示者及び 所 在 地

パワーアップジャパン株式会社
 東京都世田谷区深沢1-9-9 TEL:03-3705-3251